

## 1. 主な取組み

方 針	2021年4月から2022年3月までに実施した主な取組み
<p><b>1. お客さまの最善の利益の追求</b></p> <p>○高度な専門性と職業倫理を保持し、お客さまの最善の利益の実現に向けて、誠実・公正に業務を行ってまいります。また、こうした業務運営を企業文化として維持してまいります。</p>	<p>(1) お客さま本位の業務運営をより向上させていくために、「お客さま本位の業務運営に関する方針」に基づくアクションプランを作成しました。具体的に取り組む内容を明確にし、その実施状況を振り返ることで、次の取組に繋げていきます。このような一連の行動を企業文化として定着させるためにアクションプランを作成しました。</p> <p>アクションプランはホームページに公表しておりますので以下をご参照ください。  <a href="https://www.82sec.co.jp/info/fd.php">https://www.82sec.co.jp/info/fd.php</a></p> <p>(2) 「高度な専門性と職業倫理」の確保のため、社内において、「コンプライアンスプログラム」を策定しています。プログラムの一環として、お客さま本位の業務運営に関する勉強会を実施し、証券・金融あっせん相談センターのあっせん事例について問題点等を確認しました。</p> <p>(3) お客さまの最善の利益を実現するために、お客さまの金融知識、経験、財産の状況や投資目的に合った金融商品やサービスを提供し、お客さまの利益を最優先した合理的な提案に努めております。</p> <p>(4) お客さまの最善の利益の実現状況を検証するため、「運用損益別顧客比率」、「投資信託預り残高上位 20 銘柄の 2022 年 3 月末時点のコスト・リスク・リターン」、「お取引残高有り口座数・預り資産残高の推移」、等を公表しております。</p> <p>(5) 社内においては、(4) の状況を 3 か月ごとに共有するほか、毎月末ごと支店別の「運用損益別顧客比率」を共有することにより、状況把握に努め、お客さまの最善の利益を実現するための提案力強化に取り組んでおります。</p>
<p><b>2. 利益相反の適切な管理</b></p> <p>○お客さまとの利益相反の可能性を正確に把握し、適切に管理します。</p>	<p>(1) 特定の商品提供会社（運用会社等）に偏ることなく、お客さまの最適な資産形成、資産運用に資することを第一として、幅広く新商品を選定しています。</p> <p>(2) 「利益相反管理方針」を制定し、ホームページ上に公表しております。お客さまと当社の利害が対立する</p>

方 針	2021年4月から2022年3月までに実施した主な取組み
	<p>取引の類型を明示し、管理しております。詳しくは、以下をご参照ください。</p> <p><a href="https://www.82sec.co.jp/info/images/conflict.pdf">https://www.82sec.co.jp/info/images/conflict.pdf</a></p>
<p><b>3. 手数料等の明確化</b></p> <p>○お客さまにご負担いただく手数料やその他の費用の透明性向上に努め、お客さまにお伝えしてまいります。</p>	<p>(1) 手数料等の費用について、パンフレットやタブレット端末等を活用し、分かりやすく丁寧な説明ができるよう取組んでおります。</p> <p>(2) 投資信託について、お客さまにご負担いただく手数料およびその他費用は以下のとおりです。ホームページ上に詳細を掲載しており、2022年1月により丁寧な説明に改訂するとともに、手数料設定に対する考え方を追加しました。詳しくは、以下をご参照ください。</p> <p><a href="https://www.82sec.co.jp/product/investment.php">https://www.82sec.co.jp/product/investment.php</a></p> <p>○お客さまに直接ご負担いただく費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売手数料 商品購入時に当社へお支払いいただく費用です。商品説明・資料作成の事務手続き等、ご提案からご購入に至るまでの経費を踏まえて当社が決定しています。</li> <li>・信託財産留保額 商品の解約時に委託会社へお支払いいただく費用です。お客さま資産より差し引かれます。信託期間満了前に解約する場合、解約する受益者と継続保有する受益者との公平性と運用の安定性を保つために差し引かれる費用です。</li> </ul> <p>○お客さまの信託財産から間接的にご負担いただく費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信託報酬 ファンドの運用・管理のための費用として信託財産より差し引かれます。当社、委託会社、受託会社へそれぞれ支払われます。</li> <li>・その他の費用・手数料 毎日計上される監査費用を含む信託事務に要する諸費用、組入れ有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産より差し引かれます。委託会社へ支払われます。</li> </ul> <p>(3) 商品ごとの販売手数料や信託報酬等の費用については、お客さまに配布している「投信ラインナップ」に一覧で表示しておりますので、比較しながらご検討いただくことができます。</p>
<p><b>4. 重要な情報のわかりやすい提供</b></p> <p>○お客さまに対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件、手数料ならびに経済環境・市場動向等を分かりやすくご説明し、必要な情報を十分に提供いたします。金融知識やお取引経験が少ないお客さまや、高リスク・商品性が複雑な場合には、より丁寧</p>	<p>(1) 金融商品・サービスの販売・推奨等に当たっては、パンフレットやタブレット端末等を活用し、分かりやすく丁寧な説明を実施しております。シミュレーション機能を用いて、それぞれのお客さまに合わせたご案内をしております。</p>

方 針	2021年4月から2022年3月までに実施した主な取組み
<p>に行います。</p> <p>○金融商品・サービスの販売後においても、お客さまに必要な情報を提供いたします。</p>	<p>(2) 「重要な情報」は、投資信託では「投資信託説明書（交付目論見書）」、「目論見書補完書面」を用いて説明を行い、「確認書」によりお客さまと共有させていただきました。また、重要な情報をより分かりやすくお伝えするために「重要情報シート（個別商品編）」を2022年4月から取扱い開始する体制を整えました。なお、当社をより理解していただくための重要情報シート（金融事業者編）は、2022年1月から口座開設時に交付・説明する取扱いを開始しました。</p> <p>(3) お客さまへの「重要な情報」の提供状況および販売推奨した商品がふさわしいものか、本部の管理部門で検証しております。</p> <p>(4) 2021年度の投資信託アフターフォロー率を公表しております。お客さまへのフォロールールを定め、定期的なフォロー体制を整備しております。また、相場急変時などにもきめ細やかなフォロー活動を実施しました。</p>
<p><b>5. お客さまにふさわしいサービスの提供</b></p> <p>○お客さまのお取引の目的やリスク許容度等に応じ、適切な金融商品・サービスをお選びいただけるよう、幅広くかつ高品質なラインアップの充実に努めます。</p> <p>○お客さまの金融知識・経験・財産の状況とお伺いしたニーズや目的に合わせて、適切な金融商品・サービスを販売・推奨いたします。</p> <p>○はじめてお取引されるお客さまやご高齢のお客さま等につきましては、販売・推奨等を行う金融商品・サービスが適切かどうか、より慎重に判断してまいります。</p> <p>○お客さまのニーズを踏まえ、必要に応じてグループ会社をご紹介する等、グループ一体となってお客さまのご要望にお応えいたします。</p> <p>○お客さま向けセミナー等を通じて、お客さまの金融知識向上に資する取組みを行います。</p>	<p>(1) お客さまに適切で良質な金融商品・サービスを継続的に提供するため、社内規程を定め、投資信託について、主に以下の観点から商品の導入可否の判断を行っております。</p> <p>お客さまから承ったニーズ、運用状況、運用手法、商品の継続性、市場動向、リスク 等</p> <p>なお、2021年度は新たな投資信託を6ファンド導入（9ファンド取扱い停止）するとともに、商品選定時のチェックシートを設け、選定プロセス、商品選定・廃止基準をより明確にしました。</p> <p>(2) 「ご相談シート」により「ご職業」、「収入」、「運用全般に対する方針」、「運用資金の性格・目的」等のヒアリングを行ない、商品をご提案しております。ご提案にあたり、お客さまの取引目的やリスク許容度に応じてより適切な商品を提供するために、取引方針と商品ランク（リスク別）からなるマトリクス表を制定し、2022年度から活用することにしました。</p> <p>(3) 複雑な金融商品のご提案を行う場合や、ご高齢のお客さまへの勧誘につきましては、勧誘開始基準に則って、販売・推奨等を行いました。75歳以上のご高齢のお客さまへの販売・推奨等につきましては、別途ルールを定め、勧誘時の状況を本部にてモニタリングしております。</p> <p>(4) 2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しながら、対面によるセミナーを2回、オンラインセミナーを2回開催しました。セミナーの開催回数は少なかったものの、個別にお客さまへの情報提供</p>

方 針	2021年4月から2022年3月までに実施した主な取組み
	や運用状況のフォローアップなどを重点的に実施しました。
<p><b>6. 職員に対する適切な動機づけ等</b></p> <p>○お客様のニーズや利益に真に適う営業活動を評価するために、評価のあり方を随時見直してまいります。</p> <p>○人材育成、新技術の活用、販売態勢の改善等に努めます。</p> <p>○研修等を通じて、役職員全員が本方針を理解し実践いたします。</p>	<p>(1) 営業店の業績評価や営業員の人事評価については、お客様のニーズや利益に真に適う営業活動を実現させるべく、お客さまからの預り金融資産の増加や、お取引先数の増加などに比重を置いて評価するように見直しをいたしました。</p> <p>(2) 社内の職階別研修や、定期的な社内勉強会・外部セミナーへの参加により、お客さまの資産運用・資産形成に携わる職員の専門知識習得に努めております。2021年度は社内の研修等のほか、外部アナリストを講師とする Web セミナーを4回開催し職員のスキルアップを図りました。</p> <p>(3) FP 関連資格の取得推進や各種勉強会等により、職員のコンサルティング能力向上に取り組んでおります。2021年度はFP2級を3人が取得しました。</p>

●投資信託の運用損益別顧客比率（2022年3月31日時点）

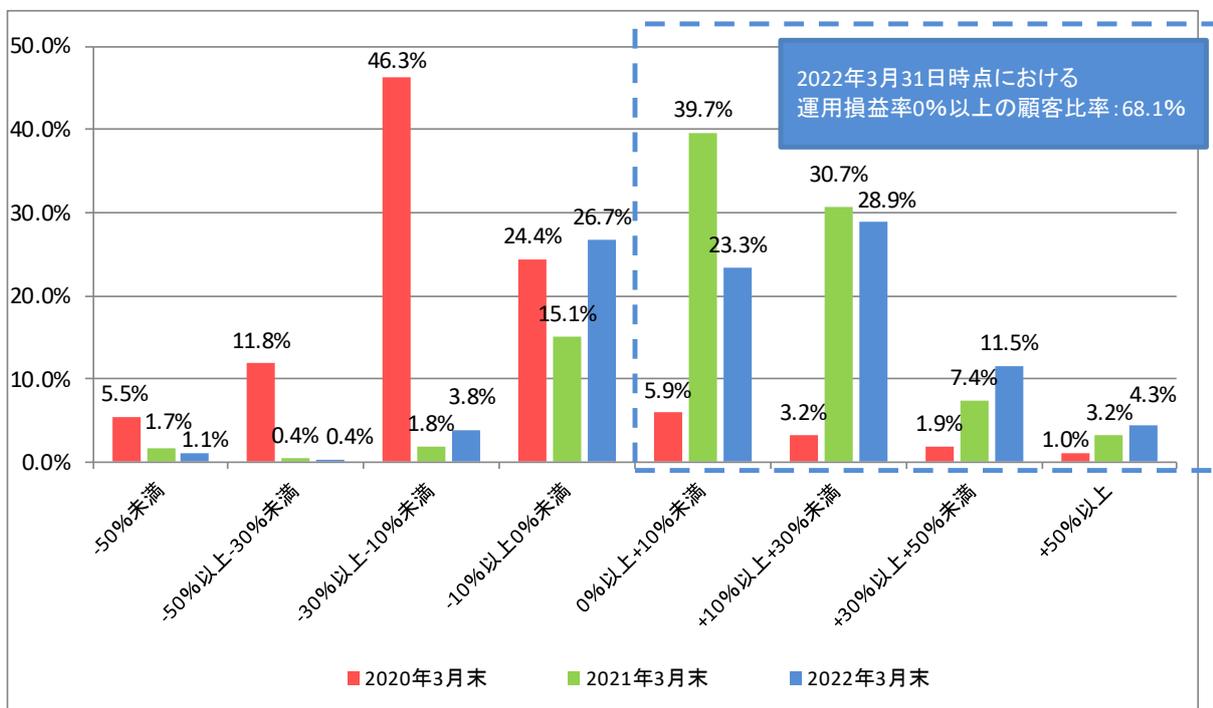
お客さまにご購入いただいた投資信託の、基準日時点の運用状況について、損益区分ごとにお客さまの割合を示しております。（基準日前に利益確定等で全額売却された投資信託は算定対象外です。）

当社においては68.1%のお客さまが運用益の状態にあり、昨年より12.8ポイントの下落となりました。ウクライナ情勢の緊迫化などにより世界的にマーケットが下落し、運用状況の悪化につながりました。各国の経済情勢や地政学リスクにより、運用環境は絶えず変動します。当社では、運用にあたり、長期運用や分散投資の重要性をお伝えするよう取り組んでおります。

今後も、お客さまとの対話からニーズを正確に捉えて商品をご提案するとともに、販売後も定期的にお客さまのお考えを確認させていただき、目指す運用成果が実現されるよう、アドバイスに努めてまいります。

※対象顧客：基準日時点で投資信託を保有されている個人のお客さま

※対象商品：2013年1月1日以降、八十二証券で新規買付かつ基準日まで継続保有している投資信託



運用損益率 0%以上 顧客比率の推移	2022年3月31日現在	2021年3月31日現在	2020年3月31日現在
	<b>68.1%</b>	80.9%	12.0%

●投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン（2022 年 3 月 31 日時点）

設定後 5 年以上経過した投資信託の、お預り残高上位 20 銘柄について、コストとリターンの関係を示しております。

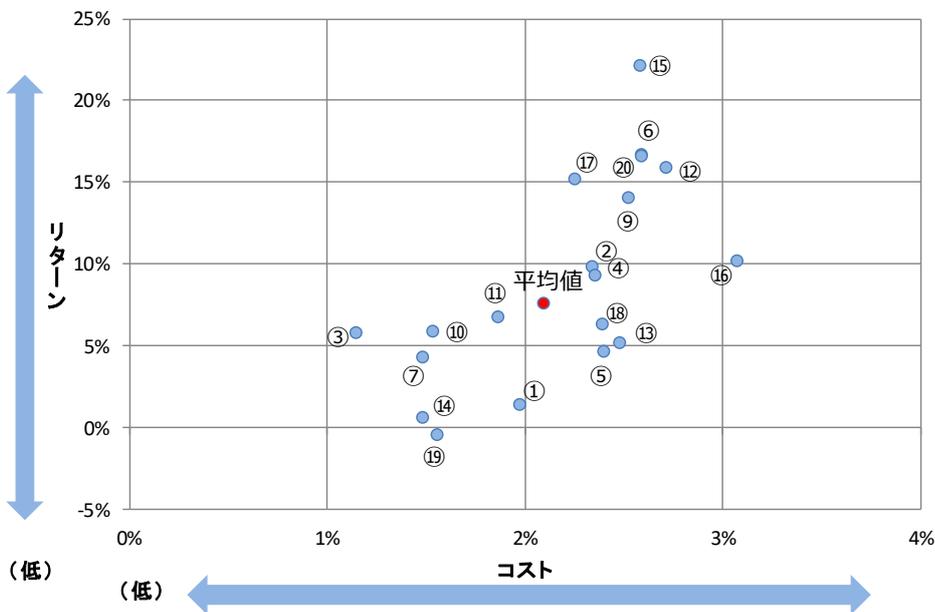
昨年と比べまして、コストは 0.1 ポイント上昇、リターンは 1.9 ポイント上昇しました。海外株式のアクティブ型のファンドが預り残高上位にランクインしたことなどにより、コストがわずかに上昇し、リターンも上昇いたしました。

投信ラインナップなどを用いて、お客さまにご負担いただく手数料やその他の費用を比較しながらご検討いただき、お客さまのニーズに適した商品を提供してまいります。

※コスト：基準日時点の購入時手数料（税込）の 1/5 と信託報酬率の合計値

※リターン：過去 5 年間のトータルリターン（年率換算）

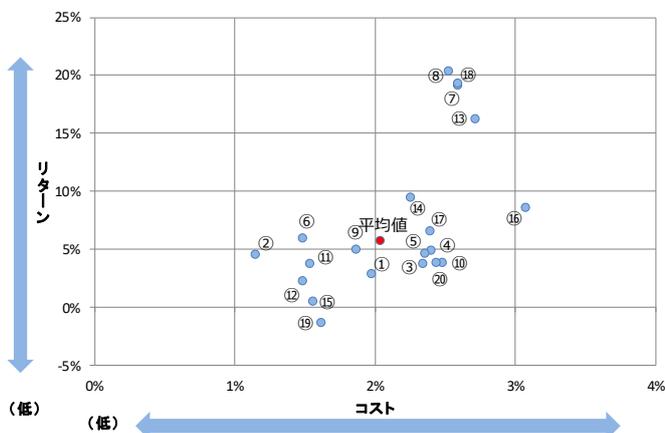
【2022 年 3 月 31 日時点】



※グラフ内の①～⑳の数字は、表1の順位に対応しています。

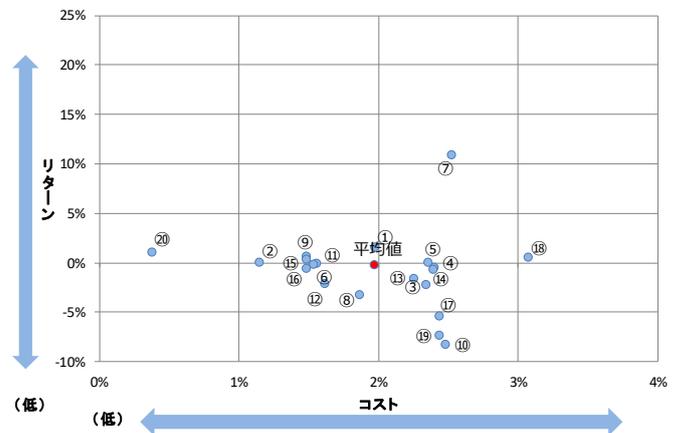
残高加重平均値 ●	コスト	2.1%
	リターン	7.6%

【2021 年 3 月 31 日時点】



残高加重平均値 ●	コスト	2.0%
	リターン	5.7%

【2020 年 3 月 31 日時点】



残高加重平均値 ●	コスト	2.0%
	リターン	-0.2%

●投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン（2022 年 3 月 31 日時点）

設定後 5 年以上経過した投資信託のお預かり残高上位 20 銘柄について、リスクとリターンの関係を示しております。

昨年と比べまして、リスクは 0.8 ポイント上昇、リターンは 1.9 ポイント上昇しました。

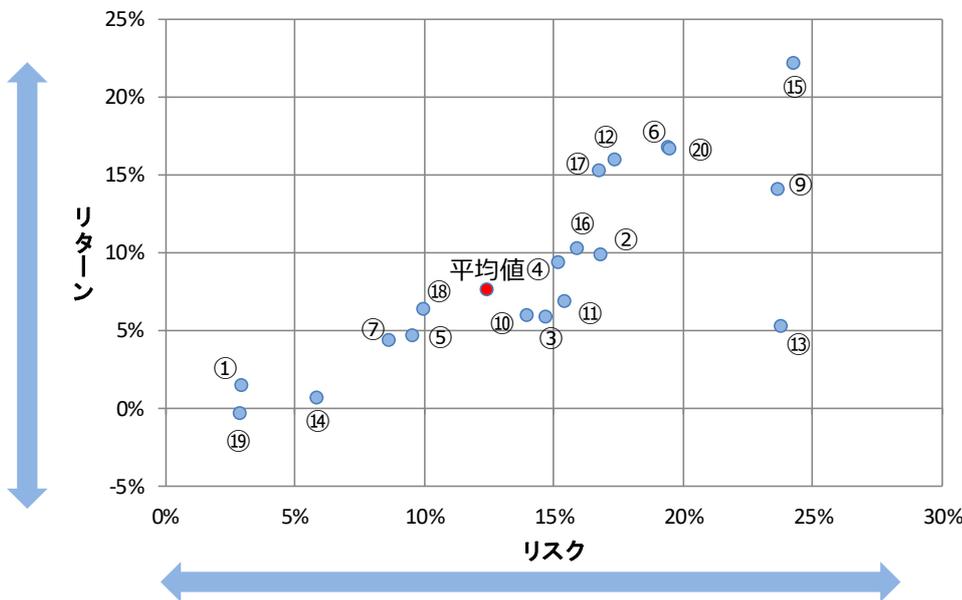
商品のご提案に際しては、タブレット端末を活用して、リスク・リターン水準や過去の値動きの分かり易い説明に努めております。また、お客さまの保有されている投資信託やポートフォリオの運用状況や運用環境のご説明など、販売後の継続的なコンサルティングにも注力しております。マーケット変動の大きいタイミングでは、特に丁寧に運用状況をご説明し、お客さまのご意向を確認させていただき体制を整えております。

お客さまのお取引の目的やリスク許容度に応じた、適切な商品やポートフォリオの提案に努めてまいります。

※リスク：過去 5 年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

※リターン：過去 5 年間のトータルリターン（年率換算）

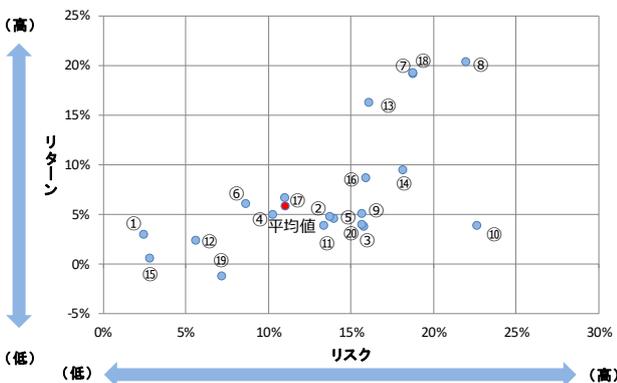
【2022 年 3 月 31 日時点】



※グラフ内の①～⑳の数字は、表 1 の順位に対応しています。

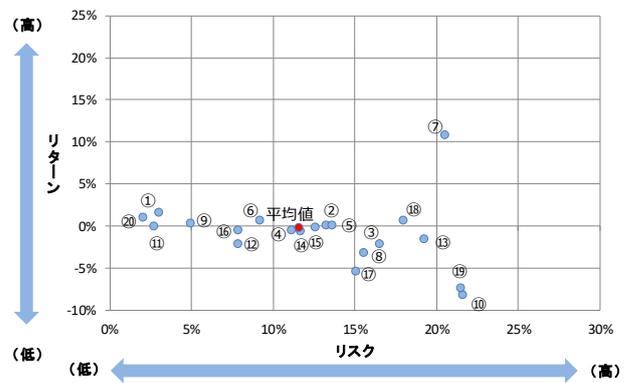
残高加重平均値 ●	リスク	12.4%
	リターン	7.6%

【2021 年 3 月 31 日時点】



残高加重平均値 ●	リスク	11.6%
	リターン	-0.2%

【2020 年 3 月 31 日時点】



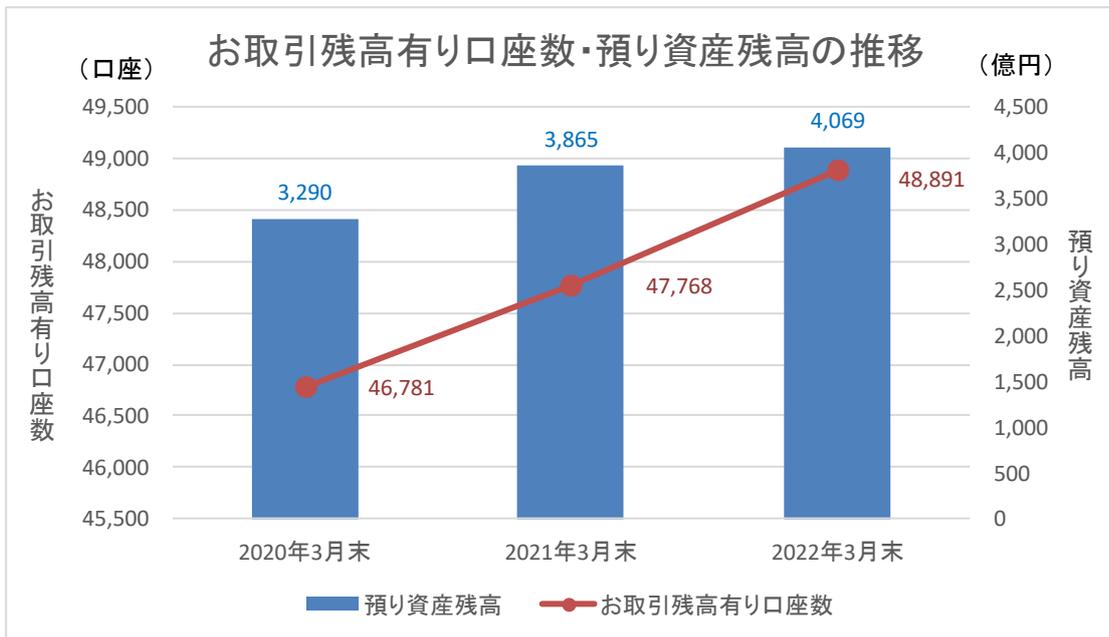
残高加重平均値 ●	リスク	11.0%
	リターン	5.7%

＜表 1＞投資信託預り残高上位 20 銘柄の明細（2022 年 3 月 31 日時点）

順位	(前回)	(前々回)	ファンド名	コスト	リターン 5年(年率)	リスク 5年(年率)
①	①	①	投資のソムリエ	2.0%	1.3%	3.0%
②	③	③	新光 US-REIT オープン	2.3%	9.7%	16.8%
③	②	②	新光J-REITオープン	1.2%	5.8%	14.7%
④	⑤	⑤	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.4%	9.3%	15.2%
⑤	④	④	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.4%	4.6%	9.6%
⑥	⑦	-	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.6%	16.6%	19.4%
⑦	⑥	⑥	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.5%	4.3%	8.7%
⑧	-	-	グローバルAIファンド	2.6%	25.6%	24.3%
⑨	⑧	⑦	MHAM新興成長株オープン	2.5%	13.9%	23.7%
⑩	⑪	⑮	三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決算型)	1.5%	5.8%	14.0%
⑪	⑨	⑧	DIAM世界好配当株式ファンド(毎月決算型)	1.9%	6.7%	15.4%
⑫	⑬	-	UBS米国成長株式リスク・コントロール・ファンド	2.7%	15.8%	17.4%
⑬	⑩	⑩	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.5%	5.1%	23.8%
⑭	⑫	⑨	UBS公益・金融社債ファンド(為替ヘッジあり)	1.5%	0.6%	5.9%
⑮	-	-	グローバルAIファンド(為替ヘッジあり)	2.6%	22.1%	24.3%
⑯	⑯	⑱	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.1%	10.1%	16.0%
⑰	-	-	次世代米国代表株ファンド	2.3%	15.1%	16.8%
⑱	⑰	⑭	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.4%	6.2%	10.0%
⑲	⑮	⑪	東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)	1.6%	-0.5%	2.9%
⑳	⑱	-	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.6%	16.6%	19.5%

●お取引残高有り口座数・預り資産残高の推移

お取引残高有り口座数・預り資産残高ともに増加しております。商品をお持ちでないお客さまや、長年お取引のないお客さまへのアプローチにも注力し、お客さまの潜在的なニーズにお応えできるよう努めております。当社で新規にお取引いただくお客さまについては、八十二銀行からの紹介によりお取引を始めていただくお客さまの割合が大きくなっております。八十二グループの連携により、お客さまの幅広いニーズに素早く・的確にお応えしてまいります。



●投資信託の販売額上位 10 銘柄

国内外の株式に投資するファンドが上位に多くランクインしました。また、より安定的な運用を希望されるお客さまからは、バランス型のファンドが好まれており、継続的に資金が流入しております。

第1位の「グローバルGX関連株式ファンド」、第2位の「グローバルAIファンド(予想分配金提示型)」、及び第4位の「脱炭素ジャパン」は2021年度に新たに取扱いを開始したファンドです。今後も、お客さまの幅広いニーズにお応えするため、商品ラインアップの整備に努めております。

順位	ファンド名		
	2021年4月1日～2022年3月31日	2020年4月1日～2021年3月31日	2019年4月1日～2020年3月31日
1	グローバルGX関連株式ファンド	投資のソムリエ	投資のソムリエ
2	グローバルAIファンド (予想分配金提示型)	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	ピクテ・グローバル・インカム 株式ファンド(毎月分配型)
3	ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	グローバルAIファンド	グローバル3倍3分法ファンド (1年決算型)
4	脱炭素ジャパン	人生100年時代・世界分散ファンド (3%目標受取型)	人生100年時代・世界分散ファンド (3%目標受取型)
5	人生100年時代・世界分散ファンド (3%目標受取型)	UBS米国成長株式 リスク・コントロール・ファンド	グローバル3倍3分法ファンド (隔月分配型)
6	投資のソムリエ	パインブリッジ・グローバル・ テクノロジー・インフラ・ファンド	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式)毎月分配型
7	人生100年時代・世界分散ファンド (資産成長型)	ピクテ・グローバル・インカム 式ファンド(毎月分配型)	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド
8	グローバルAIファンド	MHAM新興成長株オープン	新光J-REITオープン
9	MHAM新興成長株オープン	新光J-REITオープン	人生100年時代・世界分散ファンド (資産成長型)
10	次世代米国代表株ファンド	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	DIAM世界好配当株式ファンド (毎月決算型)

●NISA（Jr. NISA含む）稼働口座数

NISA口座は173口座増加しました。引き続き、NISAを活用した資産運用を積極的にご案内してまいります。

口座数	2022年3月31日時点	2021年3月31日時点	2020年3月31日時点
	5,233口座	5,060口座	4,995口座

●投資信託商品ラインアップ

2021年度は、新たに6商品の取扱いを開始し、9商品を取扱い停止といたしました。商品ラインアップの選定につきましては、お客さまからの声やファンドの運用状況、市場動向等を考慮し、決定しております。引き続き、ラインアップの充実に努めてまいります。

主な投資対象		2022年3月31日時点	2021年3月31日時点	2020年3月31日時点
バランス型 (世界各国の債券・株式・不動産投信等)		9商品	12商品	12商品
国内	債券	1商品	1商品	1商品
	株式	13商品	12商品	12商品
	不動産投信	3商品	3商品	3商品
海外	債券	12商品	14商品	15商品
	株式	25商品	23商品	21商品
	不動産投信	5商品	6商品	5商品

注1 投資信託は委託会社が提供する商品を導入しており、当社での組成は行っておりません。また、複数の金融商品をひとつのパッケージとした商品の取扱はありません。

●投資信託アフターフォロー率（2021年度実施状況）

市場動向を踏まえ、タイムリーかつ丁寧な情報提供を行ってまいります。

		2021年度実施状況	2020年度実施状況	2019年度実施状況
投資信託	定期アフターフォロー率及び相場急変時等におけるアフターフォロー率	100.0%	99.7%	99.5%

●セミナー等開催状況（2021年度実施状況、延べ回数）

2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しながら、対面によるセミナーを2回、オンラインセミナーを2回開催しました。セミナーの開催回数は少なかったものの、個別にお客さまへの情報提供や運用状況のフォローアップなどを重点的に実施しました。いかなる環境下においても、より多くのお客さまに資産運用の考え方、経済動向等をお客さまにわかりやすくお伝えできるよう、努めてまいります。

		2021年度実施状況	2020年度実施状況	2019年度実施状況
回数		4回	0回	16回

●FP資格保有者数（延べ人数）

より高いレベルでお客さまにコンサルティングができる人材育成のため、業務に役立つ資格取得に特に力を入れて取り組んでおります。

資格種類	2022年3月31日時点	2021年3月31日時点	2020年3月31日時点
1級FP技能士	27人	28人	27人
2級FP技能士	75人	75人	75人

以上